

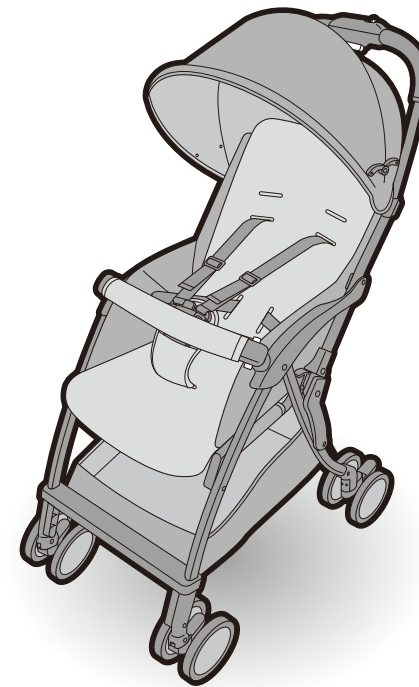
ベビーカー

マジカルエアーフリー

取扱説明書／保証書

このたびは、アプリーカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は生後7カ月[※]～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

[※]ここでいう生後7カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上を満たし、7カ月を経過した乳児を指します。
この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。



・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。

もくじ

はじめに

ご使用前に	1
製品の特徴／本書の表示について	
ご使用上の注意	2
警告／注意	
製品を取り出した時に	5
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方	7
ストッパーの使い方	8
キャスターの使い方	9
後輪キャスターの使い方(4輪フリーの使い方)	10
前輪キャスターの使い方	12
ベビーカーを動かす時の注意点	12
フロントガードの使い方	13
カゴの使い方	13
シートベルトの使い方	14
お子さまの乗せ方	15
肩ベルトの高さ調節	17
リクライニングの角度調節	18
ベビーカーの折りたたみ方	19
日除けの使い方	21

縫製品の取り外し・取り付け

フロントガードカバーの取り外し方	22
日除けの取り外し方	22
日除けの取り付け方	23
シートの取り外し方	24
シートの取り付け方	24

その他

日常のお手入れ	25
保管について	26
点検について	27
廃棄について	27
SGマーク制度について	27
困った時	28
保証とアフターサービスについて	29
保証書	30

ご使用前に

この製品は一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。

使用範囲	生後7カ月*~36カ月(体重約15kg)まで
適合基準	SG基準B形
望ましい連続使用時間	座らせた姿勢:1時間以内

*ここでいう生後7カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、7カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

安全、快適にお使いいただくために



- ・ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- ・お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- ・騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- ・振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。


製品の特徴


- ・ハンドル：背面側固定式
- ・カゴ耐荷重：5kg
- ・シートベルト：マグネットバックルを使用
- ・キャスター：【4輪フリー】ハンドルレバー操作で後輪側のキャスターがロック解除される機能があります。

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。



ベビーカーの中でお子さまを立たせない。



お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。



路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。



車輪がはまった時は、前フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。



お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。



バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。



坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーと後輪キャスターを左右ともロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。



お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



〈次ページに続く〉

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

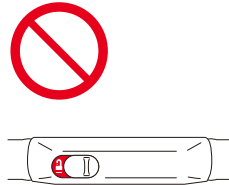
ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



必ずハンドル部に青色■が表示された状態でベビーカーを走行させること。



ベビーカーを使用中は走らない。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかたりしない。



ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。



可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。



フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・お子さまにベビーカーを操作させない。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- ・弊社サービス員以外はネジやナットなどの部品を取り外したり、分解・組立・改造をしない。
- ・シートを外した状態で使用しない。

- ・出荷時に取り付けられている部品、および弊社指定の部品または製品以外は使用しない。
- ・急激に力を加えたり、落下、投げ投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・電車などのご利用時には、無理な乗り降りはいししない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、大変危険です。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

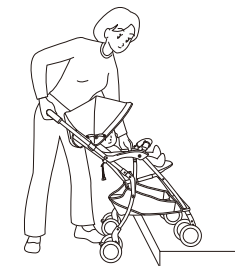
- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。(点検についてはP27を参照ください。)
- ・ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- ・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- ・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ・2台のベビーカーを連結して使用しない。
- ・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャストがスムーズに回らなくなる原因となります。
- ・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ・ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- ・カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。

- ・荷物などの運搬のために使用しない。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- ・本製品は、電車やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車やバスの中で使用する時は、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずお子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、ストッパーをかけ、ベビーカーから手を離さず充分注意してご使用ください。乗り降り時には、電車とホームとの段差や隙間、バスと路面との段差に充分注意して乗り降りしてください。
- ・また、事前にご利用の公共交通機関に利用の可否、使用方法をご確認ください。ご利用条件を満たさない時は、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、電車またはバス内でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。
- ・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- ・風の強い時は使用しない。
- ・雷の時は使用しない。
- ・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

・段差を無理に乗り越えようとししないでください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。

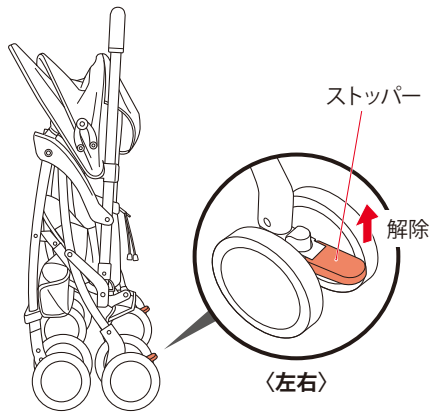


製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品がそろっているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29参照)
- ・ご使用前に、P30「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
 - ②購入日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P29参照)

本体

- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
- ・ベビーカーを開く時はP7を参照してください。



〈製品を取り出した時には〉

- ・ストッパーがロックされた状態になっております。
- ・ご使用前にストッパーをロック解除してください。(P8参照)



- ・ご使用前にストッパーをロック解除してください。(P8参照)

付属品

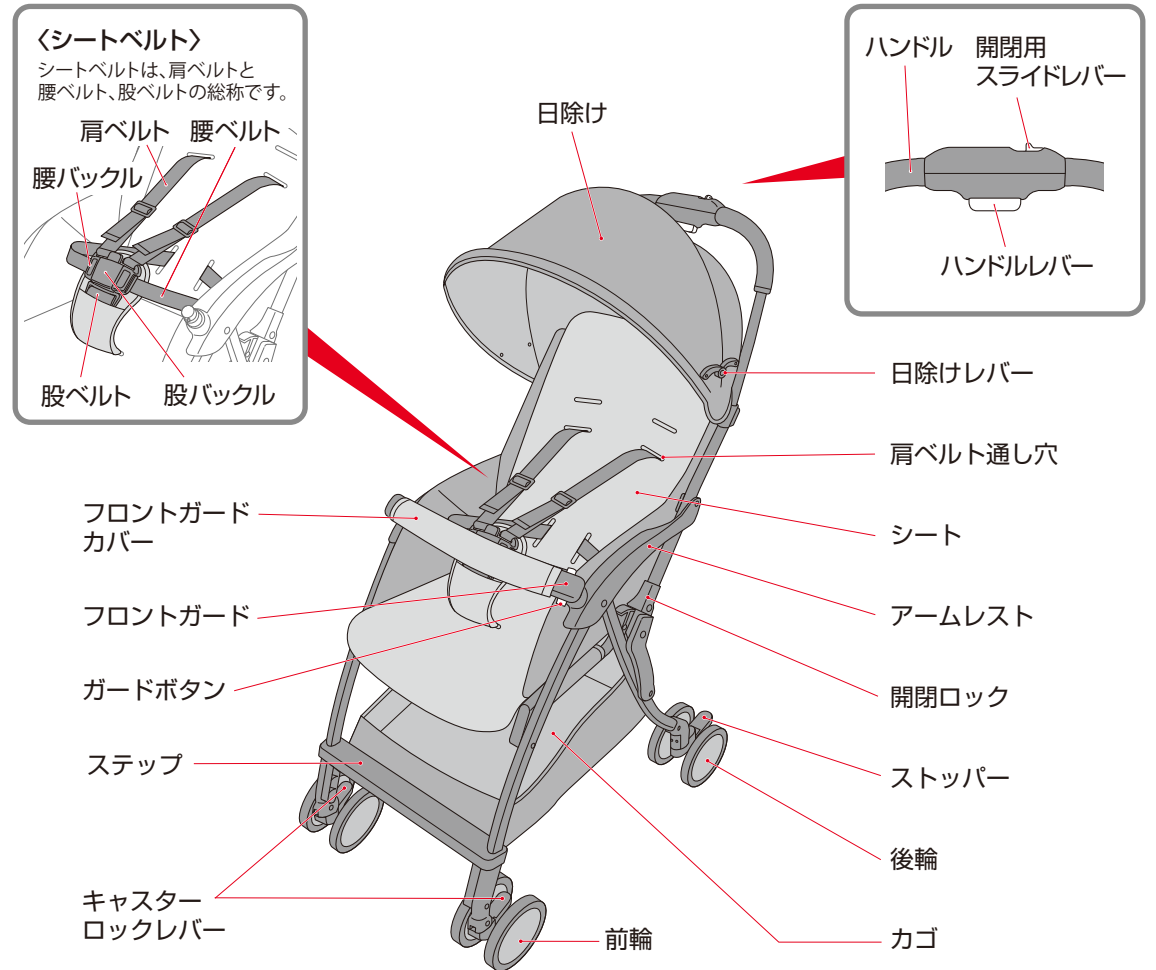


取扱説明書/保証書
(本書)

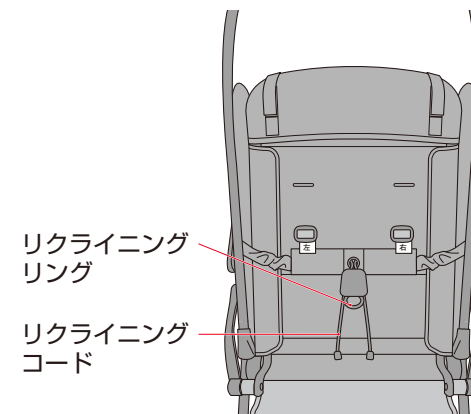


- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

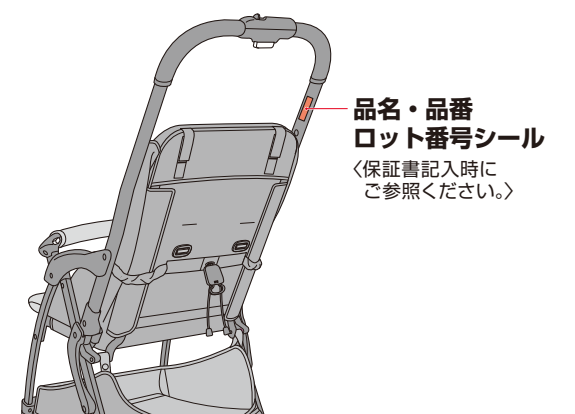
各部の名称



〈背もたれ背面〉



〈背もたれ背面右側〉



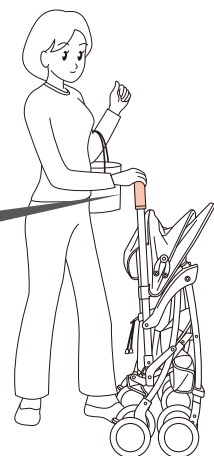
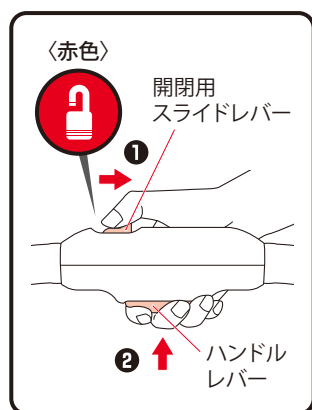
ベビーカーの開き方




・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをすることがあります。
 ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

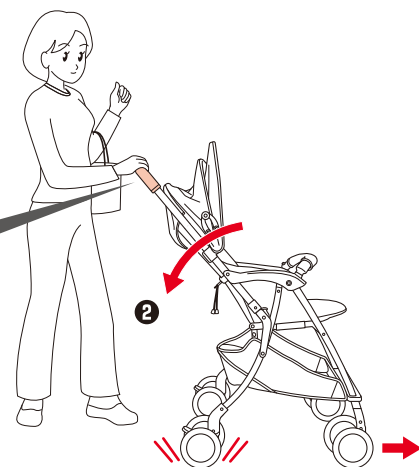
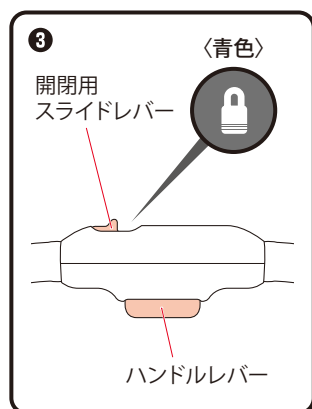
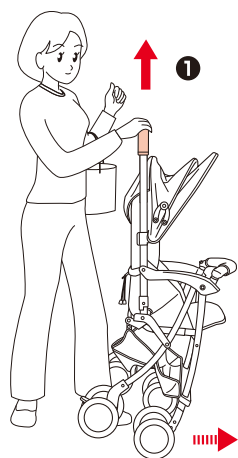
お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 ロックの解除




- ① 開閉用スライドレバーを矢印の方向へスライドさせた状態で、
( 赤色が表示されます。)
- ② ハンドルレバーを強く握る。

2 開く



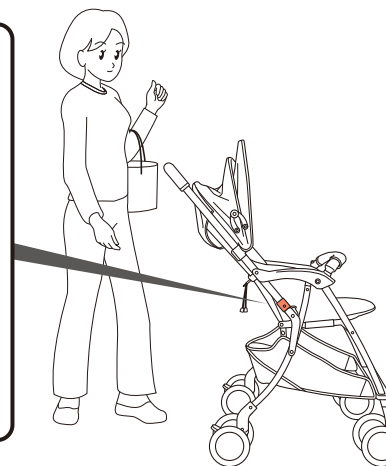
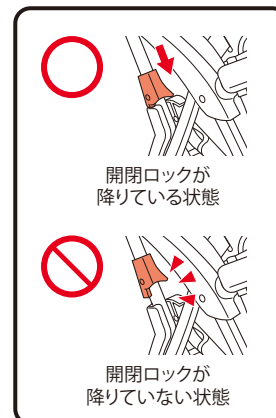
① 握ったまま、後輪が地面より離れるまで持ち上げる。

- ② そのままハンドルを手前に引いて開く。
- ③ ハンドルレバー、開閉用スライドレバーから手を離す。
 ・手を離すと開閉用スライドレバーは自動でスライドして戻ります。( 青色が表示されます。)



片手で開きにくい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って開いてください。

3 開閉ロックの確認



● 開閉ロックが降りていることを確認する。(左右)



・ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認する。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ストッパーの使い方

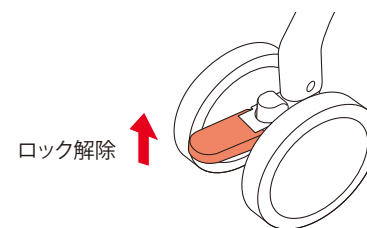


・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右ともロックすること。
 ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
 ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

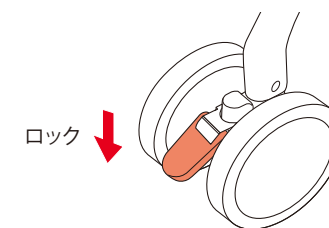


・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右ともロックしてください。

〈ストッパーをロック解除する場合〉



〈ストッパーをロックする場合〉

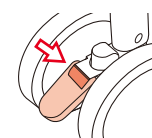


● 車輪のストッパーを押し上げて、ロック解除する。(左右)

- ① 車輪のストッパーを押し下げて、ロックする。(左右)
- ② 前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。



・ストッパーを手でロック解除する場合は、矢印の部分で指を挟まないようにご注意ください。

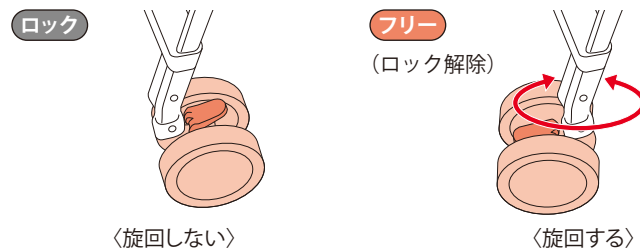


ストッパーのロックがかかりにくい時は、ベビーカーを前後させて再度ストッパーを押し下げて、ロックしてください。

キャスターの使い方

- キャスターは、車輪の向きを変える(車輪を旋回させる)機能で、ベビーカーの方向転換のために使用します。
ご使用する場面に合わせて、各キャスターのロックおよびフリー(ロック解除)を切替えてご使用ください。

各キャスターの使い方の詳細は、必ず各参照ページをご確認いただき、注意事項と手順を守ってご使用ください。

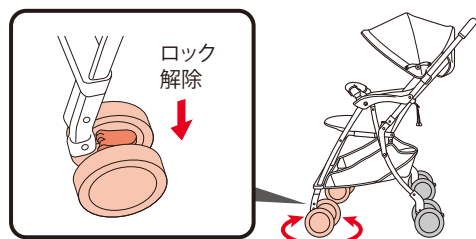
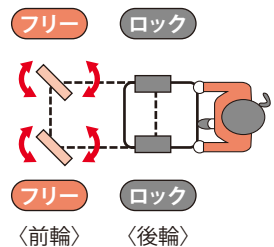


通常走行 通常はこちらの状態でご使用ください

▶ P12「前輪キャスターの使い方」参照

前輪のキャスターをフリー

前輪のキャスターロックレバーを解除します。(左右)



横スライド【4輪フリー】 狭い場所や人をよける時などに

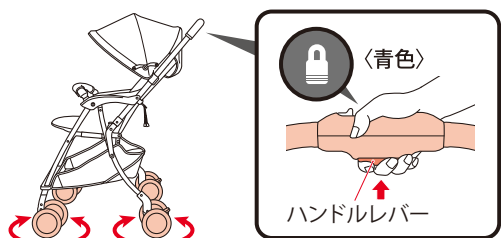
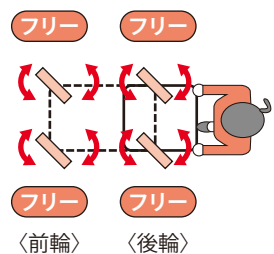
▶ P10「後輪キャスターの使い方(4輪フリーの使い方)」参照

全てのキャスターをフリー

ハンドル中央部のハンドルレバーの操作で後輪のキャスターをフリーにします。



一時的な使用



安定した直進走行 凹凸道、坂道、傾斜地など

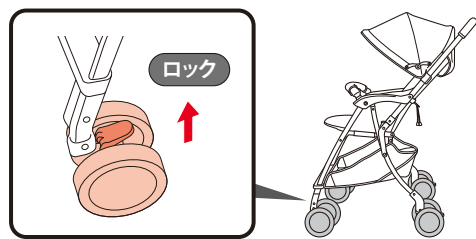
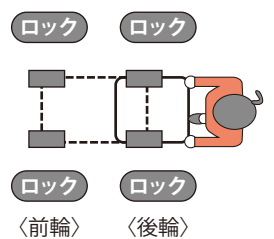
▶ P12「前輪キャスターの使い方」参照

全てのキャスターをロック

前輪のキャスターロックレバーをロックします。(左右)

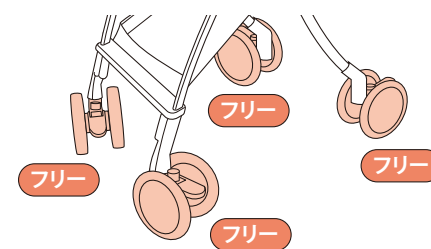


一時的な走行



後輪キャスターの使い方(4輪フリーの使い方)

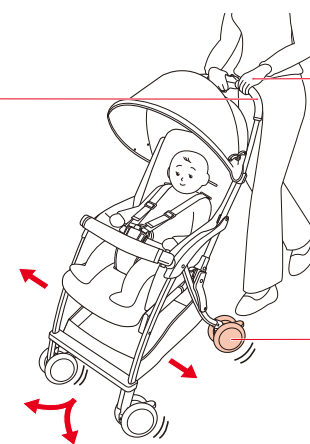
- 本製品は、後輪キャスターをフリーにすることで全てのキャスターをフリーにすることができます。全てのキャスターがフリーであることで、横スライドなどの移動が可能です。一方で、キャスターがロックされるまでの間、各キャスターが不規則な向きになる場面があり、場合によっては車体が不安定になるおそれがあります。以下の注意事項と警告、次ページ以降の操作手順をよく読み、正しくお使いください。



後輪キャスターをフリーにする場合は以下の点に注意してご使用ください。

・ハンドルに荷物をつるさない。

- ・ハンドルレバーを握っていない方の手で、ハンドルをしっかり握る。
- ・フリー操作開始から再びキャスターがロックされるまでハンドルを握ったまま。



・凸凹道、坂道、傾斜地などでは使用しない。

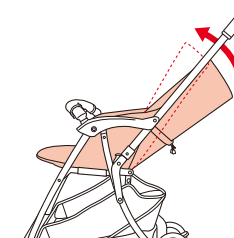
- ・後輪キャスターのフリー操作使用後は再びキャスターを左右ともロックする。



以下の操作の前に必ず後輪キャスターが左右ともロックされていることを確認してください。



・お子さまの乗せ降ろし。



・リクライニング操作などハンドルから一時的に手を離す時。

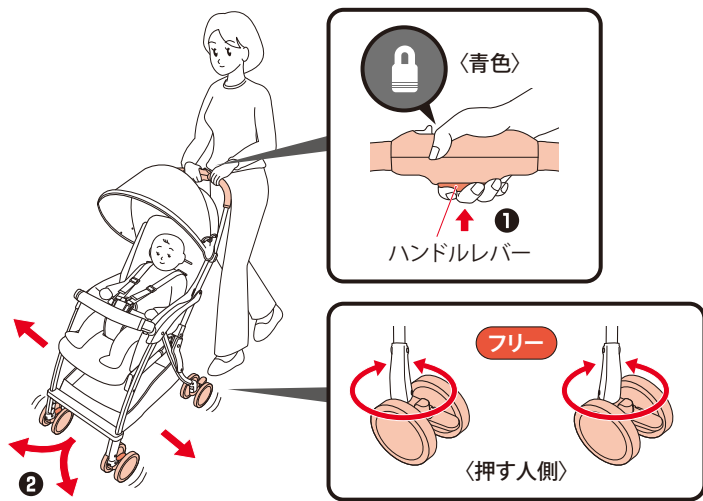
警告

キャスターが不規則な向きになり、車体が不安定になることで、ベビーカーが転倒するおそれがあります。

- ・後輪キャスターのフリー操作開始から、後輪キャスターのロックが左右ともかかったことを確認するまで、ハンドルをしっかり握っておく。
- ・ハンドルに荷物をつるさない。
- ・横スライドなど、後輪キャスターをフリーにする操作は一時的な使用に限り、使用後は必ずキャスターを再びロックする。
- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ず後輪キャスターを左右ともロックする。
- ・リクライニング操作など、ハンドルから一時的に手を離す時は、必ず後輪キャスターを左右ともロックする。
- ・凸凹道、坂道、傾斜地などの走行時には後輪キャスターをフリーにしない。

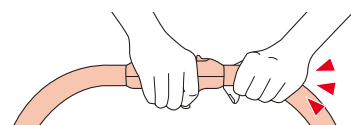
後輪キャスターの使い方 (4輪フリーの使い方)

1 後輪キャスターをフリーにする



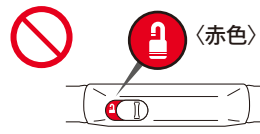
- 必ず 青色が表示されている状態で、ハンドルレバーを握る。
(後輪キャスターがフリーになります。)
- ハンドルレバーを握ったままベビーカーを動かしたい方向に動かす。
(ハンドルレバーを握っている間は、キャスターはロックされません。)

・ハンドルレバーを握っていない側の手で、ハンドルをしっかり持って操作してください。



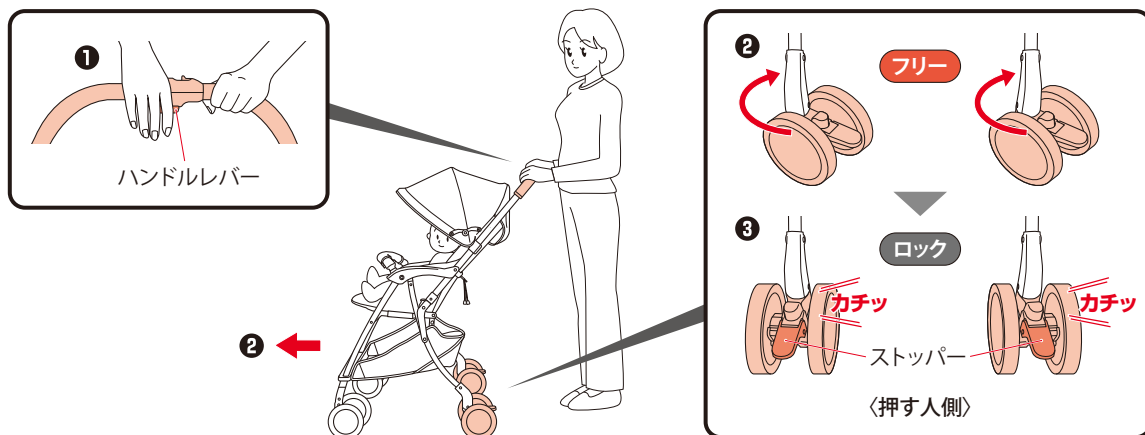
警告

必ずハンドル部に 青色が表示された状態でベビーカーを走行させること。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



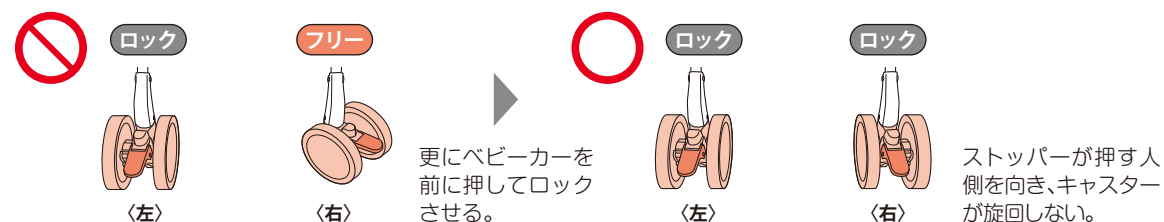
2 後輪キャスターをロックする (フリー状態から戻す)

・横スライドなど、後輪キャスターをフリーにする操作は一時的な使用に限ります。使用後は必ず下記の操作でキャスターを再びロックしてください。



- ハンドルレバーを握っていない方の手は必ずしっかりハンドルを握った状態で、もう一方の手をハンドルレバーから離し、
- ベビーカーを前に押して、後輪のストッパーが押す人側にまっすぐ向くようにキャスターを回転させる。
- 「カチッ」と音がして、後輪キャスターが左右ともロックされたこと (旋回しないこと) を確認する。

・「カチッ」と音がしても、片側だけしかキャスターがロックされない場合があります。その場合は更にベビーカーを前に押し、必ず左右ともキャスターをロックさせてください。
片側だけしかロックされていない場合、ベビーカーが転倒するなどのおそれがあります。

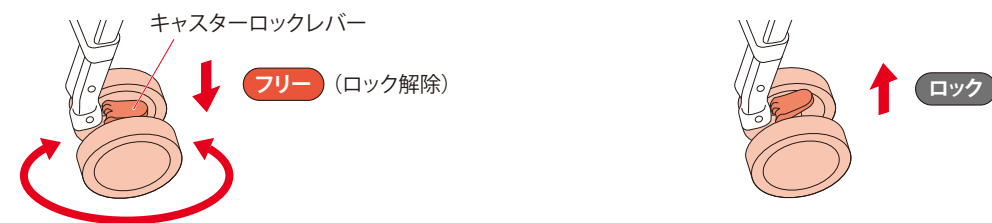


前輪キャスターの使い方

・前輪のキャスターは、キャスターロックレバーの操作でロックとフリー (ロック解除) を切替えます。凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的にキャスターをロックすると押しやすくなります。通常の走行時は、前輪のキャスターをフリーにした状態でご使用ください。

〈前輪キャスターをフリー (ロック解除) にする場合〉

〈前輪キャスターをロックする場合〉



●キャスターロックレバーを押し下げ、フリー (ロック解除) にする。(左右)

●キャスターロックレバーを押し上げ、ロックする。(左右)

注意

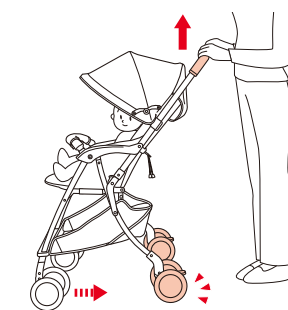
前輪キャスターは必ず内側に向けてロックしてください。誤った向きでロックすると、安定して直進できず、車輪が摩耗するおそれがあります。



ベビーカーを動かす時の注意点

〈後方に動かす場合〉

・本製品は、後輪キャスターをフリーにできる構造上、後方に動かす時に操作しにくいと感じる場合があります。やむを得ずベビーカーを後方に動かす場合 (エレベーターや電車の乗り降りなど) は次のようにしてください。



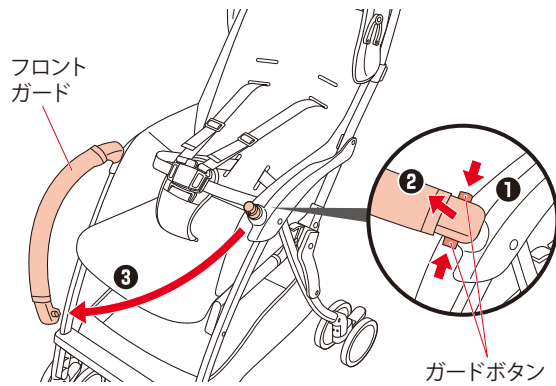
●ハンドルを持ち上げて、後輪を軽く浮かせて後方に動かす。

フロントガードの使い方



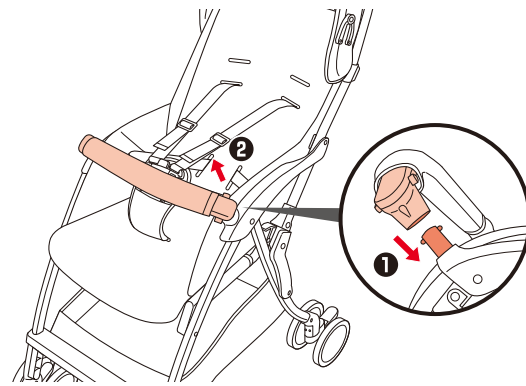
- ・開いた状態のフロントガードを振り回したりしない。お子さまにフロントガードが当たり、けがをすおそれがあります。
- ・フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
- ・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。
- ・フロントガードを閉じた後は、引っ張り、ロックされていることを確認する。

〈開き方〉



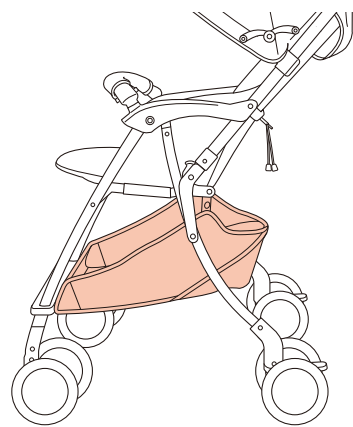
- ①ガードボタンを押しながら、
- ②フロントガードを上方に引き抜く。
- ③フロントガードを下に降ろす。

〈閉じ方〉



- ①フロントガードの端部を持ち、差し込み部に向かってまっすぐに差し込む。
- ②軽く引っ張り、ロックされていることを確認する。

カゴの使い方



- ・カゴの上部から荷物の出し入れをする。
- ・カゴは取り外さないでください。無理に取り外すと、再び取り付けができなくなります。



荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。



- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
- ・重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
- ・カゴには貴重品などを入れない。

シートベルトの使い方

バックルについて

- ・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されています。



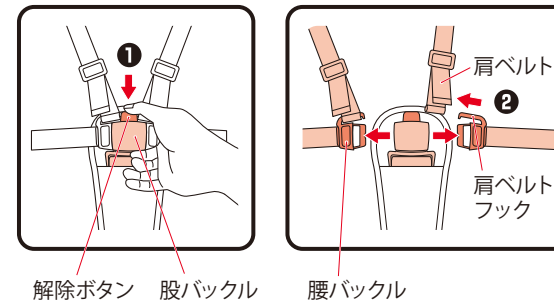
バックルのマグネットがペースメーカーの作動に影響を及ぼすおそれがあります。

- ・ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
- ・ペースメーカーをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカーの植込み部位をバックルに近づけないでください。



- ・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
- ・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

シートベルトの外し方

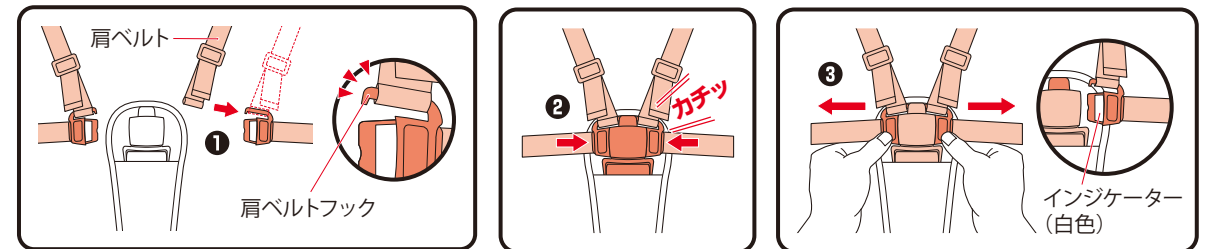


- ①股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(左右の腰バックルが同時に外れます。)
- ②肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)



股バックルの解除ボタンはお子さまが容易に操作できない強さに設定されています。シートベルトを外す際は、解除ボタンを最後までしっかり押し込んでください。

シートベルトの締め方(バックルのとめ方)

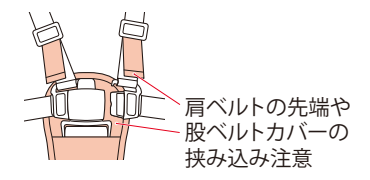
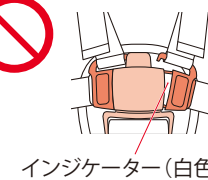


- ①肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
・肩ベルトフックの奥まで完全に通してください。
- ②腰バックルを股バックルに差し込む。(左右)
(マグネットで腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。)

- ③腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認した上で、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。



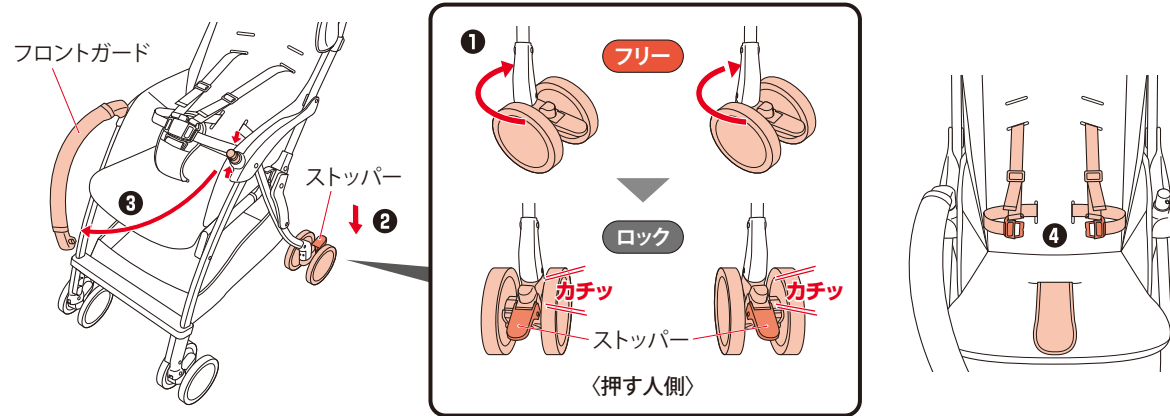
インジケーター(白色)が見えている場合は完全にロックされていません。ベルトや布の挟み込み、異物の付着がないかを確認して差し込み直してください。肩ベルトフックと股バックルの間に肩ベルトの端部を挟み込まないようにご注意ください。



インジケーター(白色)

肩ベルトの先端や股ベルトカバーの挟み込み注意

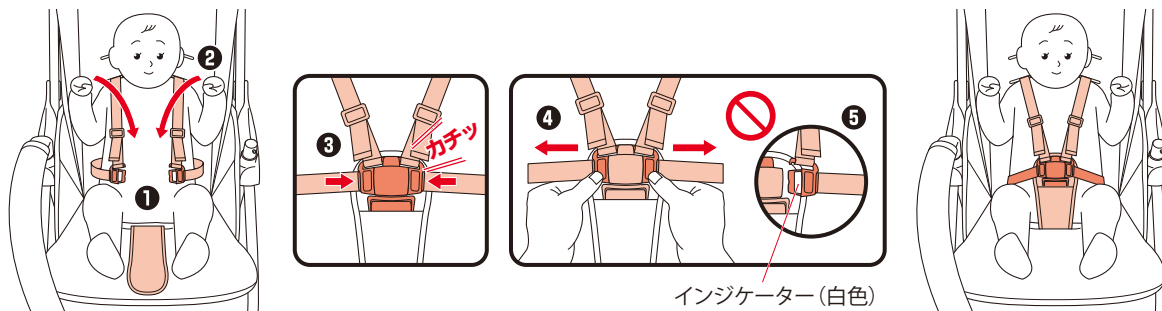
1 準備



- ① 後輪キャスターをフリーにしていた場合は、後輪キャスターを左右ともロックする。(P11参照)
- ② ストッパーをロックする。(左右)
- ③ フロントガードを開く。(P13参照)
- ④ 股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。

・肩ベルト位置を変える時は、P17「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。
 ・リクライニングの角度を変える時は、P18「リクライニングの角度調節」を参照ください。

2 お子さまを乗せる



- ① お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
- ② お子さまの腕を肩ベルトに通す。
- ③ バックルをとめる。
- ④ 左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
- ⑤ 腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認する。

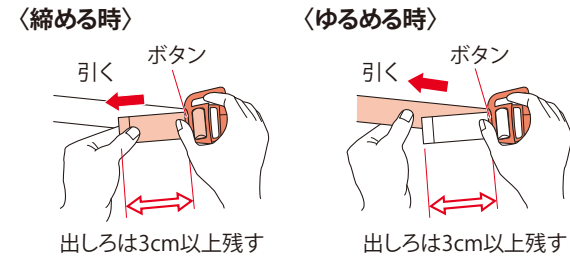
7P114 肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
 ・肩ベルトがねじれていないか確認してください。



・シートベルトを締め後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
 ・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
 ・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。
 ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
 ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

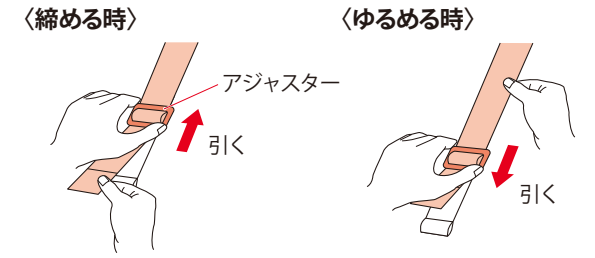
3 ベルトの調節

腰ベルト



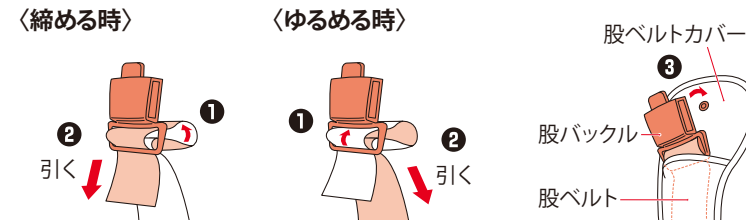
● ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト



● アジャスターを引き、長さを調節する。

股ベルト



- ① ベルトを矢印の方向に送り、
- ② ベルトを引き、長さを調節する。
- ③ ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。

ベルトの調節の目安



・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
 ・腰ベルトの末端の出しり(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
 ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。
 ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
 ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
 ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。

4 最後に



- ① フロントガードの端部をしっかり持ち、差し込み部に向かってまっすぐに差し込む。
- ② ストッパーをロック解除する。(左右)

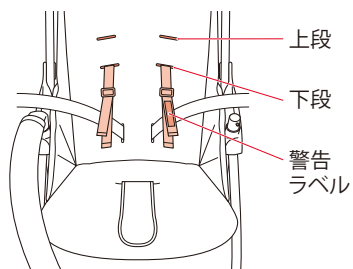
肩ベルトの高さ調節



警告 お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

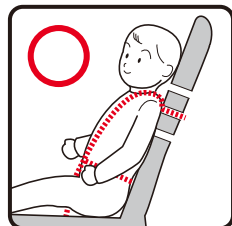
〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



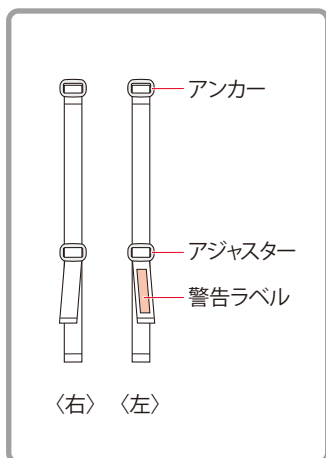
・肩ベルトの位置は以下の2段階に調節してください。

月齢の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月～36カ月	上段
7カ月～18カ月	下段

※上記表示は目安であり個人差があります。

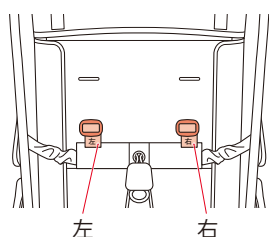
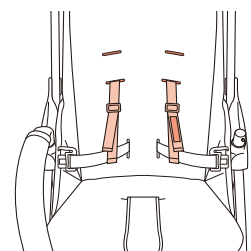
肩ベルトの高さ調節のしかた

・シートベルトのバックルを解除して、肩と腰のベルトを分離しておきます。



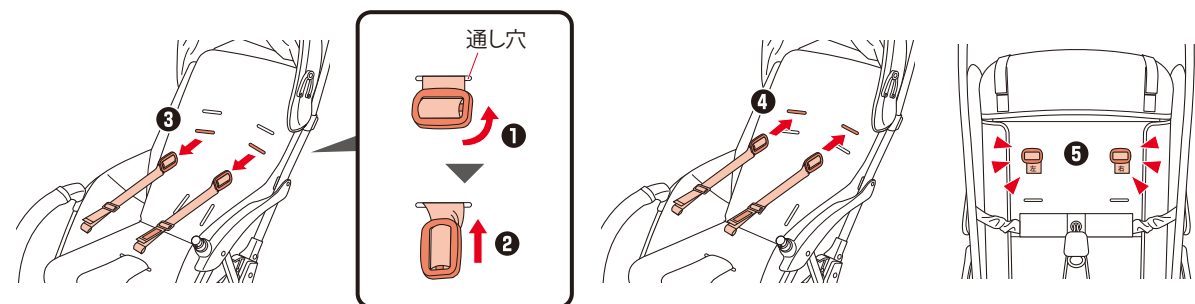
確認ポイント

〈ベビーカー背面〉



・左右の肩ベルトは同じ高さ。
・警告ラベルが表に来る。
・肩ベルトがねじれていないこと。

・背面から見て左側に「左」、右側に「右」のラベルの付いた肩ベルトが通っている。



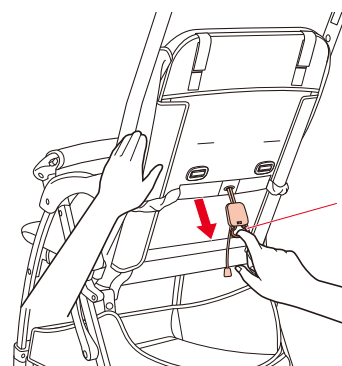
① 通し穴に対して肩ベルトのアンカーを図のような向きになるようにひねる。
② そのまま通し穴にアンカーを通して、
③ 穴の反対側からアンカーを引き出す。

④ 使用する高さの通し穴にアンカーを通して、背面側に引き出す。
⑤ 肩ベルトを2～3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

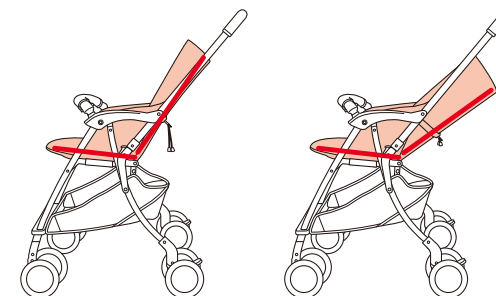
リクライニングの角度調節

背もたれを倒す時

・肩ベルトをゆるめる。(P16参照)



リクライニングリング



① 片方のお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。

② リクライニングリングを引ながら背もたれを倒し、角度を調節する。

・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。(P16参照)

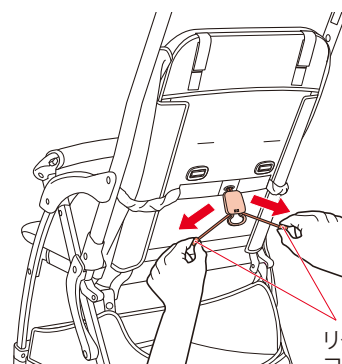


警告
・リクライニングの調節は、平坦で安定した場所で、ベビーカーを停止した状態で行う。
・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



注意
・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。

背もたれを起こす時



リクライニングコード

● お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。



アドバイス
お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

ベビーカーの折りたたみ方



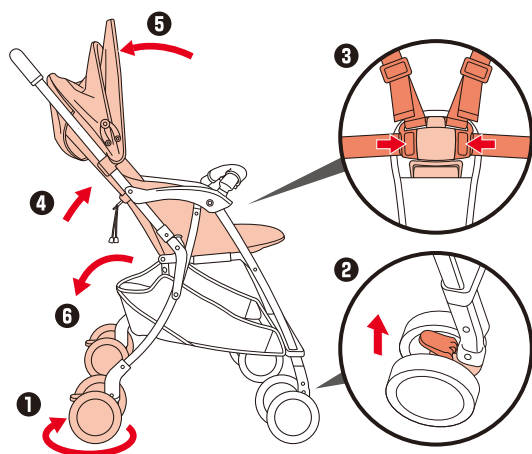
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



・シートベルトのバックルをとめてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックル破損やバックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。
・後輪キャスターをロックしてから折りたたむこと。折りたたんだ後、ベビーカーが自立せず、転倒するおそれがあります。

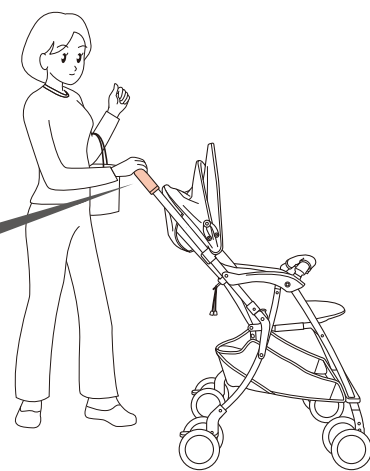
お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に



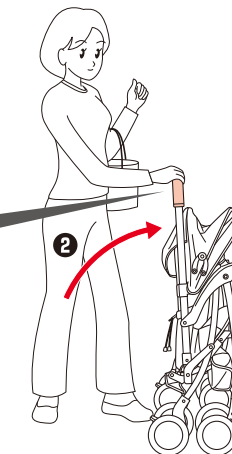
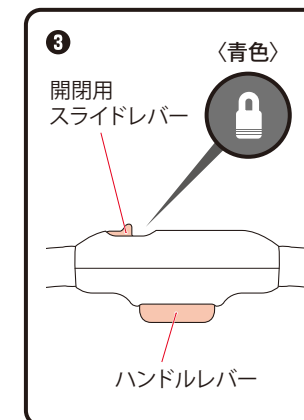
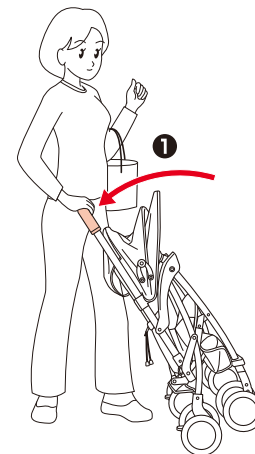
- ① 後輪キャスターをロックする。(P11参照)
- ② 前輪キャスターをロックする。(P12参照)
- ③ シートベルトのバックルをとめる。(P14参照)
- ④ 背もたれを起す。(P18参照)
- ⑤ 日除けを閉じる。(P21参照)
- ⑥ カゴから荷物を取り出す。

2 ロックの解除



- ① 開閉用スライドレバーを矢印の方向へスライドさせた状態で、(赤色が表示されます。)
- ② ハンドルレバーを強く握る。

3 折りたたむ



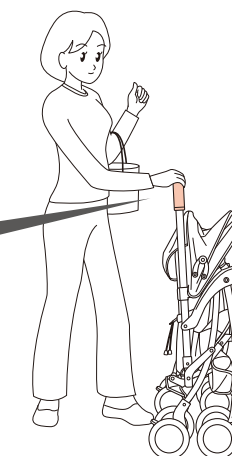
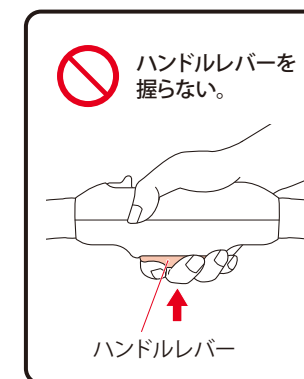
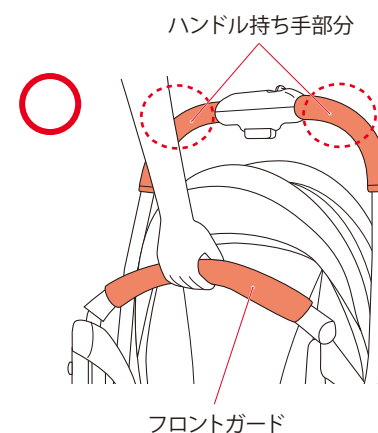
① 握ったまま、車体を後ろに傾け、折りたたむ。

- ② 車体を起こす。
- ③ ハンドルレバー、開閉用スライドレバーから手を離す。
・手を離すと開閉用スライドレバーは自動でスライドして戻ります。(青色が表示されます。)



片手で折りたためない場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

ベビーカーを持ち運ぶ時の注意



・ベビーカーを折りたたんだ状態で持ち運ぶときは、ハンドル持ち手部分か、フロントガードを持って持ち運んでください。



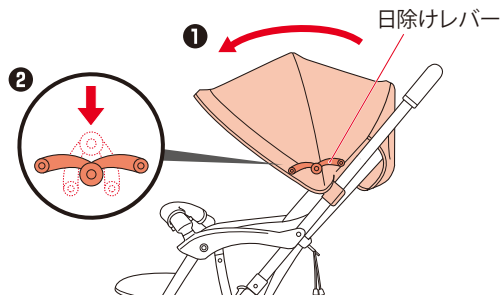
・ハンドルレバーを握ると、後輪キャスターがフリーになり、ベビーカーが自立しなくなる場合があります。

日除けの使い方



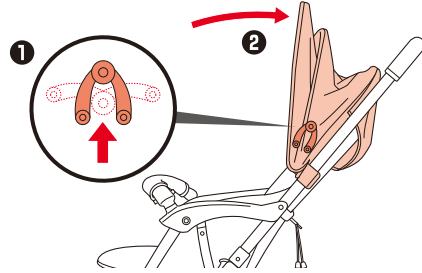
・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。
可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



- ①日除けを前方に開く。
- ②日除けレバーをロックする。(左右)

閉じ方

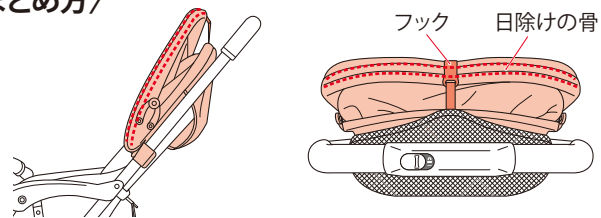


- ①日除けレバーを折りたたむ。(左右)
- ②日除けを閉じる。

日除けのまとめ方

・日除けを折りたたんだ後、日除けをフックでまとめておくことができます。

〈まとめ方〉

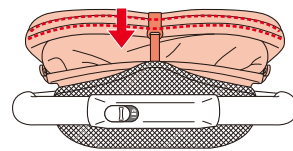


- 日除けを折りたたみ、フックを日除けの骨に引っかけてとめる。
日除けの骨の中央部分でとめてください。

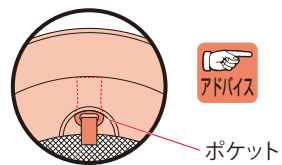


・フックに荷物などをかけない。
・指定された日除けの骨以外ではフックを固定しない。

〈取り外し方〉

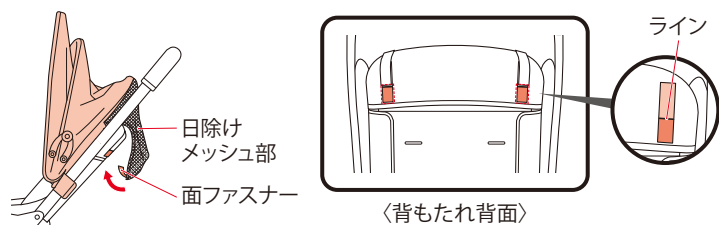


- フックを持ち、日除けの骨を引いて取り外す。



アドバイス 使用しないときはフックをポケットに収納できます。

日除けメッシュ部の固定方法

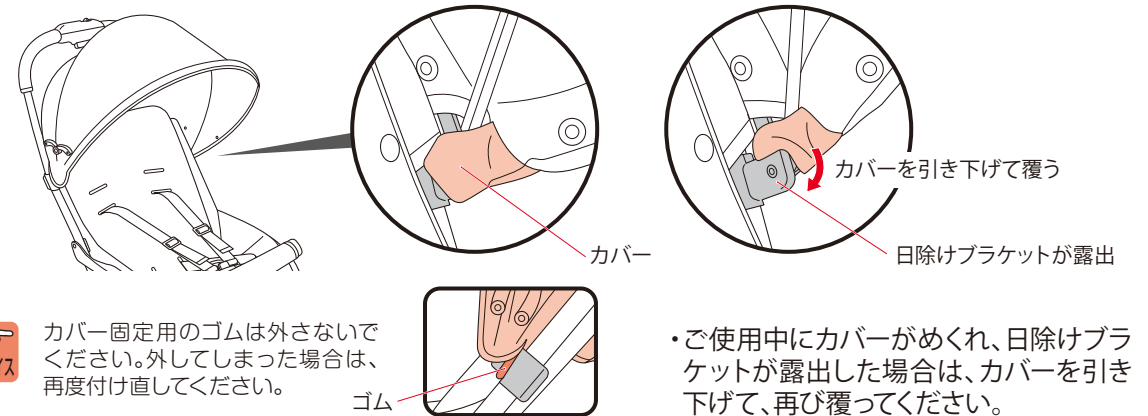


- 日除けメッシュ部は面ファスナーで背もたれ背面にとめる。(左右)

アドバイス 背もたれ背面側の面ファスナーのラインより下側を使用して日除けメッシュをとめます。
※ラインの上側はシート固定に使用します。

日除け根元部分のカバーについて

・日除け内側の根元部分の日除けブラケットは生地でカバーされています。

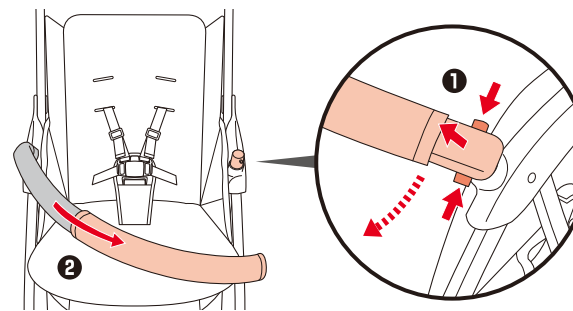


カバー固定用のゴムは外さないでください。外してしまった場合は、再度付け直してください。

ゴム

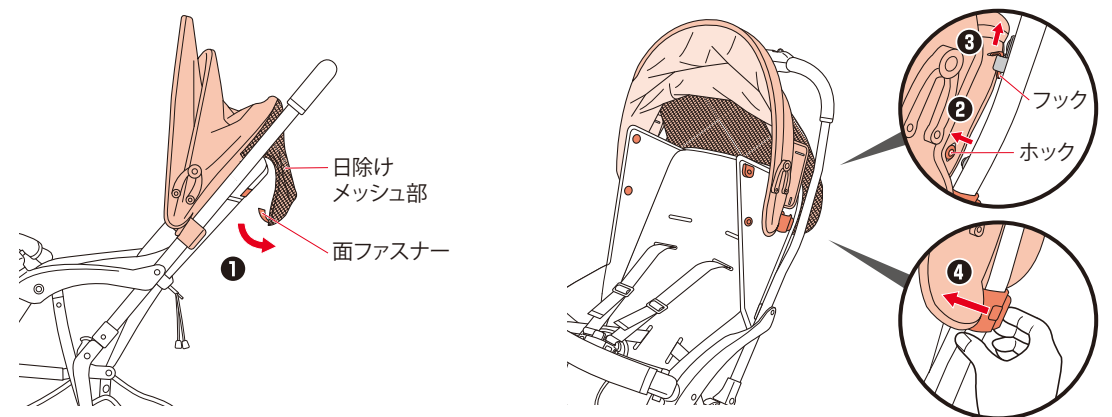
・ご使用中にカバーがめくれ、日除けブラケットが露出した場合は、カバーを引き下げて、再び覆ってください。

フロントガードカバーの取り外し方



- ①フロントガードを開く。
・内外のガードボタンを押して開く。
- ②フロントガードカバーを抜き取る。

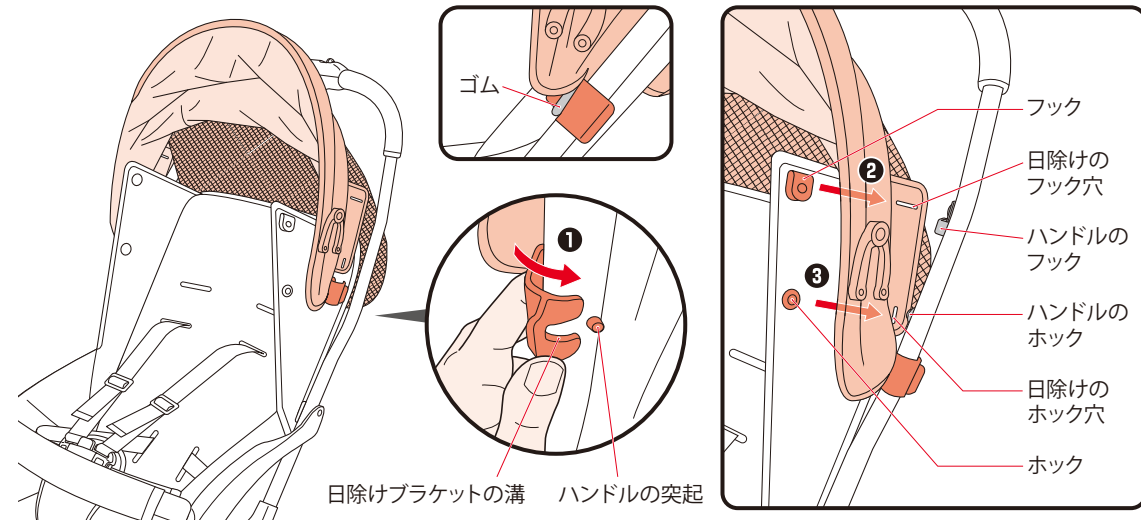
日除けの取り外し方



- ①日除けメッシュ部の面ファスナーを外す。(左右)

- ②背もたれ横側のホックを外す。(左右)
- ③背もたれ横側のフックを上方向に抜く。(左右)
- ④日除けブラケットを手前に引き、取り外す。(左右)

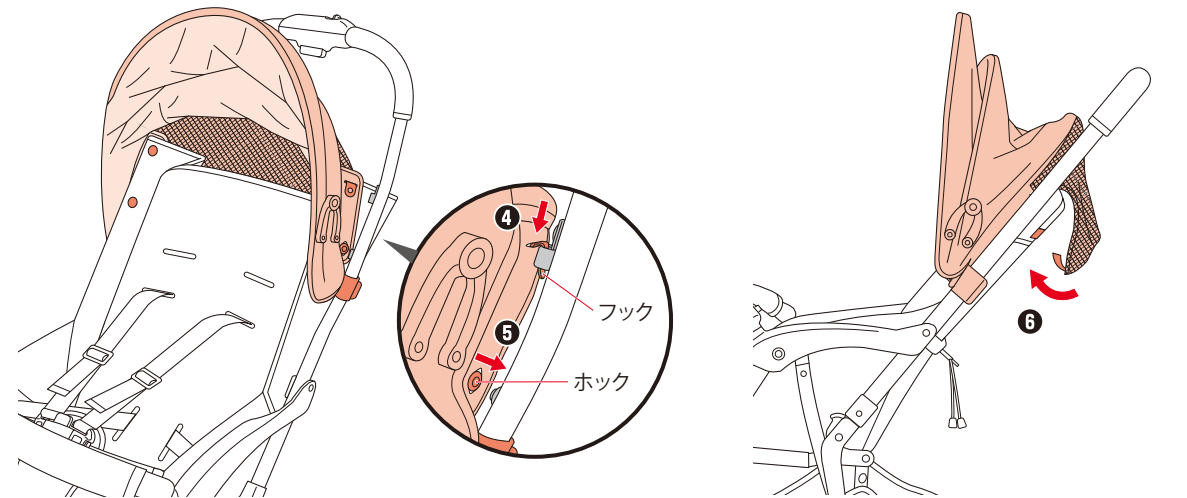
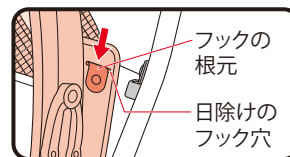
日除けの取り付け方



- 1 日除けブラケットの溝をハンドルの突起部分に合わせて押し込み、取り付け。(左右)
・取り付ける時はゴムが外れていないことを確認する。
- 2 日除けのフック穴に背もたれ横側のフックを通す。
- 3 日除けのホック穴を背もたれ横側のホックに通す。



背もたれ横側のフックを日除けのフック穴に根元まで通してからハンドルのフックにかけると、ホックがとめやすくなります。



- 4 背もたれ横側のフックをハンドル横側のフックに付ける。(左右)
- 5 背もたれ横側のホックをハンドル横側のホックにとめる。(左右)
- 6 日除けメッシュ部の面ファスナーをとめる。(左右) (P21参照)

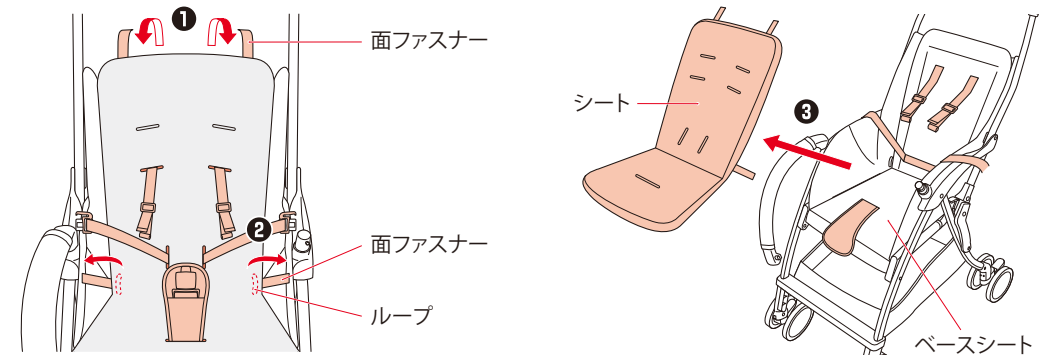


・日除けは正しく取り付けてください。開閉不良の原因になるおそれがあります。

シートの取り外し方

お願い ・シート本体の取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。

- ・フロントガードを開く。(P13参照)
- ・股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。



- 1 シート上部の面ファスナーを外す。(2カ所)
- 2 シート腰部裏側の面ファスナーを外し、本体のループから抜く。(左右)
- 3 肩ベルト、股ベルト、腰ベルトを引き抜き、シートを取り外す。

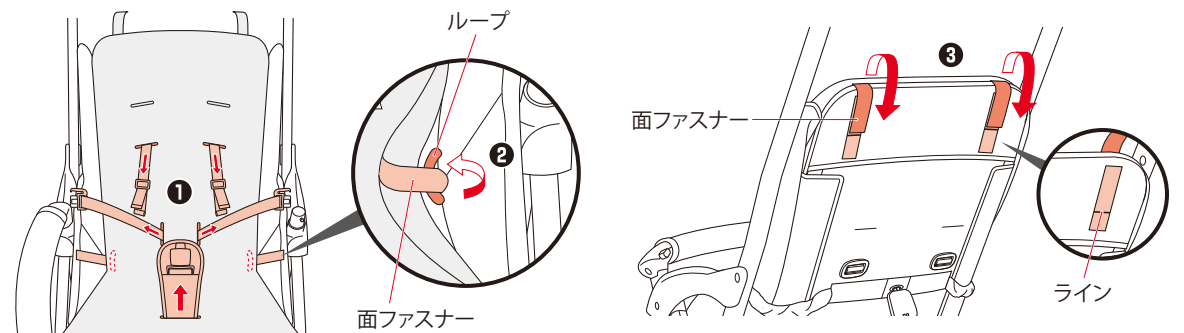


・ベビーカーのフレームに固定されているベースシートは取り外せません。ベースシートの固定用ベルトをアームレストから取り外さないでください。

シートの取り付け方



・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



- 1 肩ベルト、股ベルト、腰ベルトをシートの通し穴に通す。
- 2 シート腰部裏側の面ファスナーを本体のループに通し、とめる。(左右)
- 3 シート上部の面ファスナーをとめる。(2カ所)



背もたれ背面側の面ファスナーのラインより上側を使用してシートをとめます。
※ラインの下側は日除けメッシュ部固定に使用します。

縫製品の洗浄方法

〈シート、フロントガードカバー、股ベルトカバーの洗浄について〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

※お使いの洗濯機のメーカーや設定によっても異なりますが、しっかり洗うコースなど強い洗濯のコースを避けて、標準やデリケートなどのコースを選んでください。



- ・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- ・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。



- ・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

- ・フレームやバックル、車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
- ・腰バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。



- ・フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたままで使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
- ・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

- ・車輪は消耗品です。車輪交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(車輪交換は有償)

〈ネジ・ナット類について〉

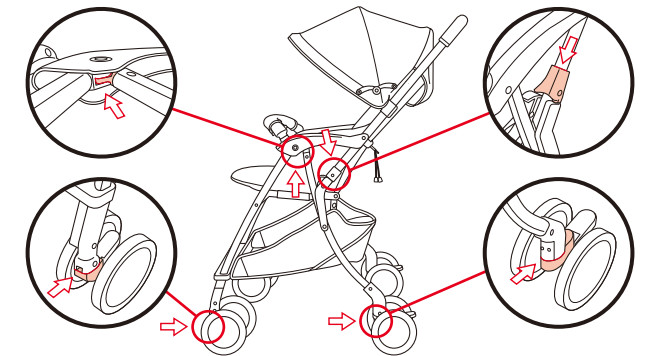
- ・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29参照)

〈フロントガードについて〉

- ・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

〈注油について〉

- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用してください。
- ・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。
- ・注油は、1カ所につき2〜3滴程度としてください。



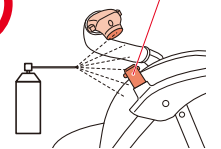
- 車体がスムーズに開閉しない場合や、キャスターがスムーズに回転しない場合、車輪や車体がきしむ場合は、シリコン滑走剤を図の⇒の箇所にさし、開閉操作を2〜3回行います。(開閉の場合のみ)



- ・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。



フロントガード差し込み部



保管について

- ・ベビーカーを折りたたみ、ポリ袋などに入れ、車体を立てた状態で直射日光のあたらない、冷暗所に保管してください。



- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ・やむを得ずベビーカーを横向きに寝かせて保管する場合も、上に荷物を置いたり、車体が斜めになるような置き方をしないでください。故障や変形の原因となります。

点検について

・定期的に製品に異常がないことを点検してください。

- 部品が欠落、破損、変形していないか。
- ストッパーに破損や変形がないか。ストッパーが確実にかかるか。
- 製品の各固定部にゆるみやきしみ音が無いか。
- タイヤやキャスターがスムーズに回転するか。
- シートベルトのバックルに異物をはさまっていないか、確実にとめられるか。
- 縫製品の破れやホック、面ファスナーの外れがないか。
- シートや日除け、シートベルトが正しく取り付けられているか。



・製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について

SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。



- ・ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。
- ・SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではありません。
- ・人的損害(治療費等)を賠償するものであり、物的損害は賠償の対象となりません。

【製品の欠陥によって事故が起きた場合】

事故が発生した日から60日以内に製品安全協会へ連絡してください。
または、事故が起きたらすぐに製品安全協会へ連絡してください。

ご連絡は製品安全協会ホームページの事故申出フォームをお使いください。



<https://www.sg-mark.org/reparation>



困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29 参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点		対処方法
開閉	ベビーカーが開かない	開閉用スライドレバーをスライドさせ、  赤色が表示された状態でハンドルレバーを握って開いてください。(P7参照)
		シートの生地やシートベルトがアームレストや開閉ロックなどのフレームに挟まっているか確認してください。
開閉	ベビーカーが折りたためない	〈折りたたむ前に〉〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。(P19参照)
		開閉ロック部分にシートベルトが挟まっていないか確認してください。
		日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。(P23参照)
走行・方向転換(キャスター)	ストッパーがきかない	ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
	前輪キャスターが回転しない	前輪キャスターのキャスターロックレバーを押し下げ、左右ともフリーにしてください。(P12参照)
	横スライドがしにくい (後輪キャスターが回転しない)	ハンドル部に  青色が表示されている状態でハンドルレバーを握ってください。(P11参照) 前輪キャスターがロックされていないか確認し、ロックされている場合はキャスターロックレバーを押し下げ、フリーにしてください。(P12参照)
	横スライド操作後、後輪キャスターがフリー状態からロック状態へ戻らない	ハンドルレバーから手を離しただけでは、後輪キャスターは再びロックされません。ベビーカーを少し前方に押し、後輪キャスターを旋回させ、ロックさせてください。(カチッと音がして、キャスターが旋回しなくなったことを確認してください。)(P11参照)
	ベビーカーを後方に動かす時、操作しにくい	ハンドルを持ち上げて後輪を軽く浮かせて動かしてください。(P12参照)
	キャスターの回りが悪い	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。(P26参照)
リクライ	背もたれが起こせない	お子さまをベビーカーからおろして、リクライニングコードを引いてください。(P18参照)
シート	バックルがとめられない	衣類などの生地やシートベルトがバックルに挟まっていたり、異物がバックルに付着していないか確認してください。
保管	ベビーカーが自立しない (折りたたみ時)	後輪キャスターがフリー状態のまま折りたたむと自立しません。再度ベビーカーを開き、後輪キャスターをロックしてから折りたたんでください。(P11参照) ベビーカーが折りたたまれた後は、ハンドルレバーを握ったままにしないでください。
保守	タイヤが消耗した	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P29参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保証とアフターサービスについて

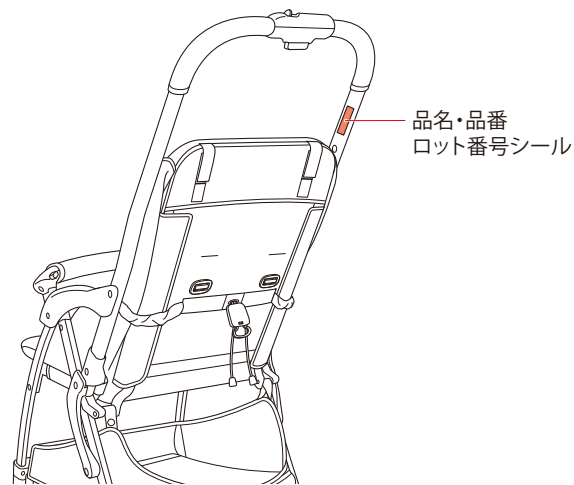
◎保証について

- 保証期間中（購入日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

◎アフターサービスについて

- ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（下図参照）をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル内側に貼ってあるシールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）